

## 秋冬野菜の生産（生育）・出荷状況について

1. 冬キャベツ
2. 秋冬だいこん
3. 秋冬はくさい
4. たまねぎ
5. 冬レタス
6. 冬にんじん

1. 平成21年産冬キャベツ(11月～3月)の作付面積・生育状況の概要

平成21年10月現在

	当初計画(21年6月作成)		10月現在の見込み		生育ステージ			今年の出荷見通し			
	面積		出荷量							出荷量	
	計画	前年	計画	前年	計画	前年	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
	(ha)	実績比	トン	実績比	トン	実績比					
全農千葉 県本部	996	101%	39,400	105%	37,900	101%	7月下旬～ 8月下旬	8月中旬～ 10月下旬	10月中旬 ～ 3月	平年通り10月中旬から始まり、11月より本格出荷となる見込み。	作柄不良だった前年を上回り、平年並みの出荷が見込まれる。
全農神奈 川県本部	363	100%	20,830	108%	21,435	111%	6月下旬～ 9月下旬	7月下旬～ 10月下旬	11月～3月	平年通り10月上旬から始まり、11月より本格出荷となる見込み。	作柄不良だった前年を上回り、平年並みの出荷が見込まれる。
JAあいち 経済連	2,340	100%	97,600	110%	95,500	108%	7月下旬～ 8月下旬	8月中旬～ 10月上旬	11月～3月	出荷開始は平年より4,5日遅く10月9日。本格出荷になるのは、平年よりやや遅く11月中旬頃を見込み。	台風18号の被害から、左記の見通しより減少すると思われる。
その他	1,938		57,711								
対象県 共販計	5,637	101%	215,541	110%							

コメント

作付面積:直近の調査で、神奈川県本部の前年比103%、愛知経済連の前年比105%となっている。

昨年の販売状況が良かったこともあり、全体に前年をやや上回る作付けとなった。

生育状況:愛知県産は台風18号の影響が心配される。千葉、神奈川県産の台風の影響は軽微で生育は順調。

出荷見通し:全体数量は、年内は前年より多い出荷が見込まれる千葉県産、神奈川県産のウエイトが高いこともあり、少なかった前年を上回る出荷が見込まれる。

年明けは、台風の影響が心配される愛知県産のウエイトが高まることから、今後の生育状況によっては、少なかった前年並みの出荷となる可能性がある。

2. 平成21年産秋冬だいこん(10月～3月)の作付面積・生育状況の概要

平成21年10月現在

	当初計画(21年6月作成)		10月現在の見込み		生育ステージ				今年の出荷見通し	
	面積		出荷量						出荷量	
	計画	前年	計画	前年	計画	前年				
	(ha)	実績比	トン	実績比	トン	実績比	播種時期	出荷時期		
全農千葉 県本部	1,020	100%	52,700	100%	49,763	95%	9月中旬～11月	10月中旬～3月	平年同様10月上旬から出荷が始まり、11月中旬以降本格出荷になる見込み。 台風18号の影響(十分な台風対策が出来なかった)や、被覆資材のコスト上昇から露地の作型が増えたこともあり、前年を下回る出荷が見込まれる。	
全農神奈 川県本部	609	100%	55,060	102%	56,980	105%	9月上旬～ 10月中旬	11月～3月	平年同様10月下旬から出荷が始まり、11月から本格出荷となる見込み。 生育順調で、台風の被害も軽微(十分な台風対策)で、前年より多く、平年並みの出荷が見込まれる。	
全農徳島 県本部	287	98%	24,020	105%	23,013	96%	9月上旬～ 10月下旬	11月～3月	平年同様10月下旬から出荷が始まり、11月中旬以降本格出荷になる見込み。 面積の減少により前年を下回る出荷が見込まれる。	
その他	2,672		92,437							
対象県 共販計	4,588	98%	224,217	103%						

作付面積:近年の価格低迷により全体的に微減傾向となっている。直近の調査で徳島県本部は前年比97%となっている。

生育状況:千葉県産の年明け出荷分については、台風18号の影響や露地の作型が増えたことから、出荷量の減少が心配される。他産地の生育は順調。

出荷見通し:全体数量は、面積がやや減少していることや、千葉県産の出荷見込みが前年を下回る見込みであることから、

前年並みかやや少ない出荷を見込む。

3. 平成21年産秋冬はくさい(10月～3月)の作付面積・生育状況の概要

	当初計画(21年6月作成)				10月現在の見込み		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量						
	計画	前年	計画	前年	計画	前年	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
	(ha)	実績比	トン	実績比	トン	実績比					
全農茨城県本部	798	100%	48,130	94%	53,290	105%	7月中旬～ 9月上旬	8月中旬～ 10月上旬	10月上旬～ 3月上旬	出荷開始は平年より1週間ほど早く9月下旬からとなった。、まとまった出荷になるのは、10月20日ごろ以降の見込み。	年明け出荷については台風18号の影響などにより前年を下回る可能性があるが、期間トータルでは前年より多い出荷が見込まれる。
JAあいち経済連	291	99%	16,040	100%	16,040	100%	8月下旬～ 9月下旬	9月中旬～ 10月中旬	11月～3月	出荷開始は平年よりやや遅く11月上旬、まとまった出荷になるのは、11月中旬以降の見込み。	台風18号の被害から、左記の見通しより減少し、前年より少なくなる出荷が見込まれる。
全農兵庫県本部	207	98%	11,706	113%	12,706	122%	9月上旬～ 9月下旬	9月下旬～ 10月中旬	12月中旬～ 3月上旬	出荷がまとまってくるのは前年並みの12月中旬ごろから、出荷のピークは1月後半から2月中旬を見込む。	作柄不良だった前年を上回り、平年作の出荷が見込まれる。
その他	2,646		55,323								
対象県共販計	3,942	100%	131,199	103%							

コメント

作付面積:全体では前年並み。

生育状況:茨城県、愛知県産の年明け出荷分については、台風18号の影響で出荷量の減少が心配される。兵庫県の生育は順調。

出荷見通し:全体では、年内は少なかった前年を上回り平年並みの出荷が見込まれるが、

年明けについては、茨城が年明けの比率をやや下げていること、愛知、茨城の台風の影響が年明けのほうが大きいことから、少なかった前年並みの出荷になる可能性がある。期間トータルでは前年を上回る出荷の見通し。

4. 平成21年産たまねぎ(11月～3月)の作付面積・生育状況の概要

	当初計画(21年2月作成)				10月現在の見込み		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
ホクレン	6,377	100%	333,380	98%	287,820	85%	2月上旬～ 2月下旬	4月中旬～ 5月中旬	8月上旬～ 4月下旬	平年どおり8月上旬から出荷 が開始されたが降雨で収穫 作業が遅れたため8月の出 荷は前年・平年を下回った。	天候不順の影響(7月の多雨 の影響が大きい)で、全道的 に湿害が散見され、前年・平 年を大きく下回る出荷の見 込み。
その他	3,020		141,395								
対象県 共販計	9,397	98%	474,775	97%							

コメント

作付面積:当初計画では前年比98%になっているが、実際の作付けはほぼ前年並みとなった。

生育状況:北海道産は天候不順の影響で、不作気味となった。

出荷見通し:前年・平年を大きく下回る出荷の見通し。

5. 平成21年産冬レタス(11月～3月)の作付面積・生育状況の概要

平成21年10月現在

	当初計画(21年6月作成)				10月現在の見込み		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量						
	計画	前年	計画	前年	計画	前年	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
	(ha)	実績比	トン	実績比	トン	実績比					
全農茨城県本部	880	100%	19,720	100%	22,160	113%	8月下旬～11月上旬	9月中旬～9月下旬 11月上旬～12月中旬	9月中旬～12月 2月～4月	出荷開始は平年よりやや早く9月中旬からで、天候に恵まれ9月下旬から潤沢な出荷となった。	生育順調で、不作気味だった前年を上回る出荷が見込まれる。
JA静岡経済連	482	100%	12,340	97%	12,848	103%	8月下旬～10月上旬	9月下旬～11月上旬	10月下旬～3月中旬	平年並みの10月下旬の出荷開始を見込む。ピークは12月から2月。	生育順調で、前年をやや上回る出荷が見込まれる。
全農兵庫県本部	1,057	106%	24,177	115%	24,037	114%	9月上旬～10月中旬	9月下旬～11月下旬	11月中旬～3月中旬	10月2日から出荷が始まり、11月より本格出荷となる見込み。	生育順調で、不作気味だった前年を上回る出荷が見込まれる。
JA香川県	700	100%	23,460	143%	17,326	107%	9月上旬～	9月下旬～	11月中旬～	出荷開始時期は平年並み。本格出荷は11月中旬以降。	台風の影響などあるが、期間計では不作気味だった前年を上回る出荷が見込まれる。
その他	3,369		55,319								
対象県共販計	6,006	102%	122,676	109%							

コメント

作付面積:面積は兵庫県本部が増えた以外はほぼ前年並み。

生育状況:生育は総じて順調。

出荷見通し:全体数量は、年内は、不作気味だった前年を上回る出荷が見込まれる。一方、年明けの出荷は、全体的に生育の前進化がみられるので、前年並みの出荷になる可能性もある。期間トータルでは前年を上回る出荷が見込まれる。

6. 平成21年産冬にんじん(11月～3月)の作付面積・生育状況の概要

平成21年10月現在

	当初計画(21年6月作成)		10月現在の見込み		10月現在の見込み		生育ステージ		今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					
	計画	前年	計画	前年	計画	前年	播種時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
	(ha)	実績比	トン	実績比	トン	実績比				
全農千葉 県本部	1,210	101%	48,100	121%	48,145	121%	7月下旬～8月中旬	11月上旬～3月末	平年どおり、11月上旬から出荷が始まり、11月下旬から本格出荷になる見込み。	台風18号の影響は軽微(生育ステージにあるとおり、10月上旬はある程度生育が進んでいるため)で生育順調のため、出荷量は少なかった前年を上回り、平年並みの出荷が見込まれる。
JAあいち 経済連	315	99%	12,130	98%	11,290	97%	8月上旬～8月下旬	11月中旬～3月下旬	まとまった出荷になるのは、平年並みの12月以降を見込む。	台風の影響もあり、前年より少ない出荷を見込むが、今後の天候により回復する可能性もある。
全農長崎 県本部	290	104%	10,900	104%	10,359	99%	8月上旬～9月中旬	11月上旬～3月上旬	平年どおり、11月上旬から出荷が始まり、11月下旬から本格出荷になる見込み。	生育順調で、平年並みの出荷が見込まれる。
その他	1,129		27,261							
対象県 共販計	2,944	100%	98,391	106%						

コメント

作付面積:前年並み。

生育状況:愛知県産は台風18号の影響が心配されるが、他産地の生育は順調。

出荷見通し:全体としては不作気味だった前年を上回り平年並みの出荷を見込む。

冬キャベツの生育状況と出荷見通しについて (平成21年10月15日時点)

農協名： JAちばみどり

1. 作付面積と出荷見通し (平成21年10月1日調査分)

	作付面積(ha)	出荷見通し数量(トン)					
		合計	11月	12月	1月	2月	3月
本年	740	34,000	6,700	8,650	7,400	6,750	4,500
前年実績比(%)	100	102	98	101	96	95	139

(注) グリーンボールを含むキャベツの出荷見通し

コメント

作付面積  
概ね横ばい。

出荷開始時期

台風18号(10月9日上陸)の影響が懸念されるが、被害は軽微となり、生育は概ね良好で年内は順調な出荷が見込まれる。しかし、年明けの出荷については、生育の遅れが懸念される。

前年は、作柄不良傾向により出荷量が少なかったことから、  
本年は、前年を上回る出荷量となり、平年並となる見込み。

2. 主な作型(出荷時期)ごとの生育状況と出荷見通し

(1) 主な作型ごとの耕種時期と主な品種及び構成比

主な作型	播種時期	定植時期	出荷時期	主な品種	21年産 構成比	20年産 構成比
冬	7月下旬～ 8月下旬	8月中旬～ 10月下旬	10月中旬 ～3月	春系305、 金系201		

(2) 主な作型ごとの生育・作柄状況と出荷見通し

主な作型	生育・作柄状況と出荷見通し
冬	台風の影響が懸念されるが、概ね順調。作柄不良により少なかった前年を上回り平年並の出荷量となる見込み



冬キャベツの生育状況と出荷見通しについて (平成21年10月16日時点)

農協名：愛知みなみ

1. 作付面積と出荷見通し (平成21年10月1日調査分)

	作付面積 (ha)	出荷見通し数量 (トン)					
		合計	11月	12月	1月	2月	3月
本年	1,200	50,650	5,250	9,350	10,300	11,900	13,850
前年実績比 (%)	109	109	156	119	103	105	107
平年実績比 (%)		108	99	109	100	109	118

※平年実績比とは、平年 (18~20年度平均) との対比

(注) 台風被害の前に作成した計画

コメント

10月8日の台風18号までは順調に定植され、約9割以上の圃場が定植終了。5月以降の夏キャベツ出荷に向ける作型のため、年内出荷の作付が増加。全体の面積も耕作放棄地の減少から微増である。

台風通過後は、エリアによって被害はまちまちであるが、特に定植後間もない苗が強風により揉まれてしまい、また塩害も見受けられ、小玉傾向および出荷量減が見込まれる。年内出荷予定の結球期タイプも強風に揉まれ、小玉傾向見込み。病虫害は少ない。

2. 主な作型 (出荷時期) ごとの生育状況と出荷見通し

(1) 主な作型ごとの耕種時期と主な品種及び構成比

主な作型	播種時期	定植時期	出荷時期	主な品種	21年産 構成比	20年産 構成比
年内出荷 冬系	8/上~	8/中~9/上	11~12	いろどり、しぶき、 YR885、輝風、秋 よし2号	25%	20%
年内出荷 春系	8/上~	9/上~	12~	福春、さちぞら、 YR 萌美	10%	10%
年明出荷 冬系	8/中~	9/中~	1/上~	ふゆき、冬てる、 冬のぼり	30%	30%
年明出荷 春系	8/下~	9/中~	1/中~	さちはる、さちな み、春岬	35%	40%

(2) 主な作型ごとの生育・作柄状況と出荷見通し

主な作型	生育・作柄状況と出荷見通し
年内出荷 冬系	台風による強風被害により、根の部分が揉まれ、生育は一時的に止まる事から小玉傾向らなる。単価により出荷量に変動あり。
年内出荷 春系	日中の気温は暖かく、葉は青々しているものの、年内冬系同様生育に弊害がある可能性大。
年明出荷 冬系	厳寒期に適応した品種が見当たらず、1月、2月はまとまった出荷量を見込んでいない。冬のぼりの出荷のある3月、4月にまとまるのが例年であるが、台風の被害があるため、出荷量は減少する。
年明出荷 春系	1月、2月はさちはる、さちなみ、3月に春岬の出荷が中心となる。台風の被害により出荷量は減少。蒔き直しにより春系定植予定だが、4月、5月出荷となる見込み。

3. その他

平年作であっても、作業の簡素化、安定収入を目的として加工業務向け（鉄コン）へのシェアが高まっている。

秋冬だいこんの生育状況と出荷見通しについて (平成21年10月16日時点)

農協名： JAちばみどり

1. 作付面積と出荷見通し (平成21年10月1日調査分)

	作付面積(ha)	出荷見通し数量(トン)						
		合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本年	515	31,465	230	3,550	6,475	5,560	5,650	10,000
前年実績比(%)	100	108	35	95	112	94	103	135

コメント

作付面積

トンネル物は微減傾向、露地物は微増傾向。  
全体としては、概ね前年及び平年並。

出荷開始時期

平年と同様に、10月中旬頃より出荷開始され11月中旬頃より本格的な出荷となる見込み。

台風18号(10月8日上陸)により、県内全域で大風の影響を受けた。潮害により、葉の縮れが見られる。状況は今後も見守る必要があるが、年内の出荷について大きな被害はなく、回復するものと見込まれる。しかし、年明けの出荷については、生育の遅れが懸念される。

2. 主な作型(出荷時期)ごとの生育状況と出荷見通し

(1) 主な作型ごとの耕種時期と主な品種及び構成比

主な作型	播種時期	定植時期	出荷時期	主な品種	21年産構成比	20年産構成比
露地物	9月中下旬		10月中旬～1月末	福誉・猷夏		
トンネル物	11月		2月中旬～3月	冬みね・春風太		

(2) 主な作型ごとの生育・作柄状況と出荷見通し

主な作型	生育・作柄状況と出荷見通し
露地物	台風の被害等、今後も見守る必要はあるが、回復傾向となる見込み。全般的には大きな被害がなく、生育は概ね順調。出荷量は平年並となる見込み。
トンネル物	播種時期は、平年どおり行われる見込み。

秋冬はくさいの生育状況と出荷見通しについて (平成21年10月16日時点)

農協名：JA 常総ひかり

1. 作付面積と出荷見通し (平成21年10月上旬調査分)

	作付面積 (ha)	出荷見通し数量 (トン)						
		合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本年	413	31,000	2,600	9,200	9,300	5,500	3,300	1,100
前年実績比 (%)	102	102	105	101	102	102	102	102
平年実績比 (%)	104	104	100	100	102	110	108	131

(注) 平年実績比とは、平年 (18~20年度平均) との対比

コメント

常総ひかりにおいては地区により作付増、作付減に二極化している。平年、前年に比べ出荷開始の時期は早く、わずかながら9月下旬の出荷があった。10月上、中旬は出荷開始期で数量はそれほど多くないものの前年比140%の出荷となった。

2. 主な作型 (出荷時期) ごとの生育状況と出荷見通し

(1) 主な作型ごとの耕種時期と主な品種及び構成比

主な作型	播種時期	定植時期	出荷時期	主な品種	21年産構成比	20年産構成比
早生	7/中~8/上	8/中~8/下	10/上~10/下	晴黄65、八千代っ娘	7%	7%
中生	8/中~8/下	9/上~9/下	10/下~12/中	秋理想、菜黄味	58%	58%
晩生	8/中~9/上	9/中~9/下	12/下~2/下	初笑、晴黄90	35%	35%

(2) 主な作型ごとの生育・作柄状況と出荷見通し

主な作型	生育・作柄状況と出荷見通し
早生	例年より若干早いスタートとなった。作柄は順調で、現況クレームはないが、圃場によっては病害が見られる。
中生	例年通りの出荷スケジュールで順調な出荷を見込む。天候の影響次第ではあるが、現況では豊作を見込み、少なかった前年を上回る出荷量を見込む。
晩生	台風の影響により外葉に傷みが見られ、小玉になる可能性あり。

3. その他

JAにおいて毎年実施している仙台でのキムチ鍋PRや東京都中央卸売市での試食宣伝を今年度も継続して実施し、常総ひかりのはくさいの定着を図る。またJAグループ茨城として実施予定のはくさいの無償配布等に参加する。JA単独の活動とJAグループ茨城としての活動を並行し消費拡大に努めたい。